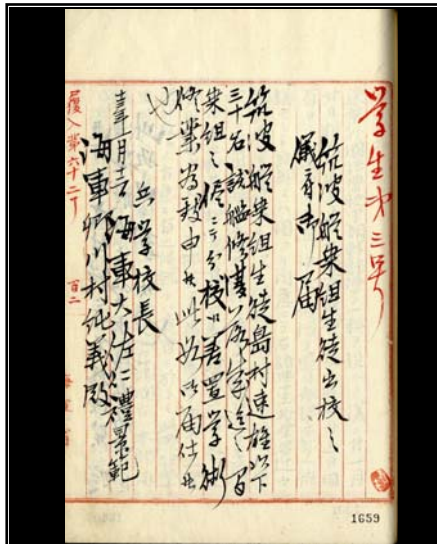


平成 22 年度は、日露戦争に参加した軍人の中から毎号一人を取り上げて、図書館史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

《 島村^{しまむら} 速雄^{はやお} 1858～1923年 》

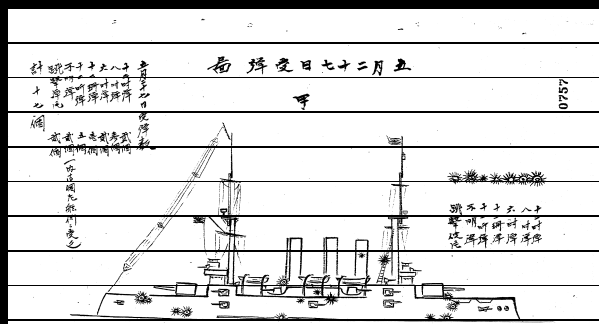
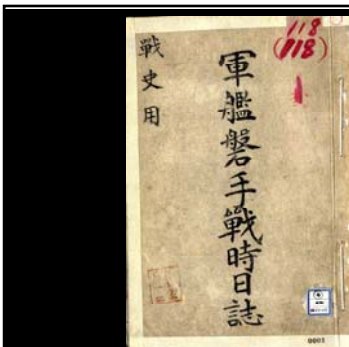
—東郷元帥を補佐し、日本海海戦を戦隊指揮官として勇戦した智将—



筑波艦乗組生徒出校之儀二付御届

(登録番号：海軍省一公文類纂一M13-20-522)

島村速雄（後の元帥）は明治 7 年、第 7 期生として海軍兵学校（明治 9 年に兵学校と改称）に入学しました。島村は大変に優秀で卒業時には首席でした。この史料は、島村が同期の加藤友三郎（後の元帥、首相兼海相）らとともに、練習艦「筑波」に乗艦し実地練習に出た時のものです。実地練習中「筑波」は修理のため横須賀に入港しましたが、「筑波艦乗組生徒島村速雄以下三十名」については乗組のまま同艦の修理が終了するまで分校において学術修業する旨の報告がなされています。



軍艦磐手戦時日誌（登録番号：海軍省一日露一M37-117）

日露戦争開戦時、島村大佐は連合艦隊参謀長でしたが、その後、少将となり第 2 戦隊司令官として旗艦「磐手」に乗艦し日本海海戦を戦いました。同海戦において「磐手」は多数の敵砲弾を受けました。「軍艦磐手戦時日誌二止」の中の「五月二十七日受弾図」には、各種火砲による被弾（17 箇所）状況が描かれており、戦闘の激しさを物語っています。その後も「磐手」は昭和 20 年 7 月、呉軍港において米軍の攻撃によりその生涯を閉じるまで活躍しました。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。
防衛研究所企画室
専用線：8-67-6522、6588 外線：03-3713-5912
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp
※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>